

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 行政相談に出掛けたことはありますか

中国四国管区行政評価局長が訪ねてこられ、市民の行政相談のさらなる活用を勧められました。行政相談は、公正・中立の立場から、国の行政全般に関する苦情や意見・要望を受け付け、必要なあつせんを行い、その解決や実現を促進するとともに、制度や運営の改善に生かす仕組みです。無料で相談ができ、相談者の秘密は固く守られます。日時や場所等、詳しくは広報「さんようおのだ」毎月1日号をご覧ください。

もっとも、本市にある国の行政機関も、すっかり少なくなってきましたね。残っているのは、厚狭税務署くらいでしょうか。

■ パラサイクリングの直前合宿

日本パラサイクリング連盟主催の「リオ2016パラリンピック 自転車競技直前合宿」が、山陽オートレース場で行われます。期間は6月14日(火)から18日(土)まで。午前は9時30分、午後は2時30分から予定されています。参加選手5名全員がパラリンピックの候補選手です。詳しくは6ページ「情報ひろば」をご覧ください。

昨年11月の山陽オートレース場での合宿が選手たちに評判がよく、今回の直前合宿が実現しました。全員が世界のトップレベルの選手ばかりです。重い障がいを抱えながらも、ひたむきに練習に打ち込むその姿に、前回は随分感動しました。今回も、みなさんの温かい声援を、ぜひよろしくをお願いします。

■ 企業訪問

毎年5月は「山口県求人確保促進月間」です。小野田地区2社、山陽地区2社を、ハローワーク所長および小野田・山陽の両商工会議所会頭と一緒に「来年春、新卒学生の一人でも多くの採用」をお願いして回りました。まだ、顕著な景気回復の兆しはありませんが、そろそろ反転の時期が近づくことを期待したいところです。

■ 企業版ふるさと納税

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が新設され、民間企業が本社ではなく工場等を立地している地方都市に、この応援税制を活用して同市の地方創生事業を応援するための寄附をする場合、寄附額の3割の税額控除の特例措置が認められることになりました。その結果、現行の、法人が寄附をした場合に認められている約3割の損金扱いとあわせて、寄附額の約6割に相当する額が、税制上の優遇措置を受けることとなり、地方創生の強力な応援となることが期待されます。

早速、6月7日(火)・8日(水)の両日、東京で予定されている全国市長会の機会を皮切りに、数回に分けて、関東、関西、中国地方を巡回し、当面本市の地方創生事業の一つである「子育て総合支援センター」への「企業版ふるさと納税」をお願いして回る予定を立てました。果たして成果のほどはいかに…。